

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 499

事務事業名	就学时健康診断事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	学校教育課		
課長名	丹野平三	内線	365
担当者名	福井隆弘	内線	388

基本目標	010202	人を育むまち
政策		豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		小・中学校教育の充実
関連施策		

会計	一般会計		
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	02	事務局費	
事業コード	040000		

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	次年度に小学校就学を控えた市内在住の幼児。(幼児教育施設に在籍していれば年長児童)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	健康診断結果に基づき、疾病等の治療を勧告するとともに、教育上及び保健上必要な助言を行い、就学に関し指導を行う。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	次年度、就学予定児童の保護者へ通知し、各小学校区ごとに9月末～11月初旬にかけて、心身の状況を把握する就学时健康診断を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	学校保健安全法第4条・第5条 学校保健安全法施行令第1条		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 就学时健康診断受診者数	計画値	1,008	1,018	1,007	1,012	
		実績値	1,011	1,018	1,007		
		達成度	%	100.3%	100.0%	100.0%	
成果指標	① 就学时健康診断受診率	計画値	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度					
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	342	347	344	363	340	340	340	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	342	347	344	363	340	340	340	
② 人件費(千円)	2,277	1,989	1,963	1,654	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.25	0.25	0.25	0.20				
時間外勤務(時間)	145	50	100	100				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,619	2,336	2,307	2,017				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	目標値(就学時健康診断受診率)が100%となるよう、電話連絡及び訪問等の努力を続けている。健診結果をもとにした就学相談を進め、適正就学につなげている。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	平成27年度はなかったが、年度によっては健診を受診されない家庭があり、家庭へのアプローチが困難な場合がある。なかには、住民票はあるもの実際に居住していないケースもあり、連絡がつかない場合もある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	法令で義務づけられた検診であり、就学に向けて児童の心身の状態を把握し教育環境の整備につなげることは妥当である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	児童の心身の状態を把握し、教育環境を整備する上で市の関与は妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	心身の状態を把握し、学校と共有することで適切な環境整備につながっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	学校において適正な環境を整備することで、児童のよりよい成長につながっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	就学児童数は1,000名前後であり、現在の予算を削減することは困難である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	就学時健康診断の受診率はほぼ100%であり、診断結果は小学校入学時の児童の健康管理等において貴重な資料となっており、その果たす役割も大きいので現状維持とする。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	受診率を高めることで就学児の状況を把握し、適正就学につなげていく。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等			内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。